

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 29 年 3 月 16 日 (2017.3.16)

【公開番号】特開 2016-101891 (P2016-101891A)  
 【公開日】平成 28 年 6 月 2 日 (2016.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-034  
 【出願番号】特願 2014-242294 (P2014-242294)  
 【国際特許分類】

B 6 0 W 30/09 (2012.01)  
 G 0 8 G 1/16 (2006.01)  
 B 6 0 W 50/12 (2012.01)  
 B 6 0 T 7/12 (2006.01)  
 B 6 0 R 21/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 W 30/09  
 G 0 8 G 1/16 C  
 G 0 8 G 1/16 E  
 B 6 0 W 50/12  
 B 6 0 T 7/12 C  
 B 6 0 R 21/00 6 2 4 B  
 B 6 0 R 21/00 6 2 4 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 2 月 8 日 (2017.2.8)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

回避対象物との衝突を回避するための衝突回避機能を作動可能な衝突回避実行部と、  
 ドライバーによるアクセルペダルの操作に基づいて、前記ドライバーによる加速意思の有無を判断する判断部と、

前記加速意思があると判断された場合には、前記衝突回避機能の作動を禁止する衝突回避制御部と、を備え、

前記判断部は、さらに、前記アクセルペダルの操作に基づいて、前記ドライバーによる前記衝突回避機能のキャンセル意思の有無を判断し、

前記衝突回避制御部は、前記衝突回避機能の作動中に、前記キャンセル意思があると判断された場合に、前記衝突回避機能の作動を終了する、衝突回避装置。

【請求項 2】

前記判断部は、前記アクセルペダルの踏み込み量が、第 1 閾値以上である場合に、加速意思があると判断する、  
 請求項 1 に記載の衝突回避装置。

【請求項 3】

前記判断部は、前記アクセルペダルの踏み込み量が第 2 閾値以上である場合、または一定時間内に複数回の踏み込みが検知された場合、若しくは、前記アクセルペダルの踏み込み速度が速度閾値以上である場合に、前記キャンセル意思があると判断する、  
請求項 1 または請求項 2 に記載の衝突回避装置。

## 【請求項 4】

前記衝突回避制御部は、前記衝突回避機能の作動が開始してから、減速度の立ち上がり  
が終了するまでは、前記衝突回避機能の作動の終了を行わない、  
請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の衝突回避装置。

## 【請求項 5】

前記衝突回避制御部は、前記衝突回避機能の作動が開始してから、減速度の立ち上がり  
が終了するまでに、前記アクセルペダルの踏込み量が前記アクセルペダルの誤踏込みを判  
断するための第 3 閾値以上になった場合には、前記衝突回避機能の作動を終了する、  
請求項 4 に記載の衝突回避装置。

## 【請求項 6】

前記衝突回避制御部は、車両速度を所定の上限速度または上限加速度以下に制限する加  
速制限機能の作動中は、前記アクセルペダルの操作にかかわらず、前記衝突回避機能の作  
動の禁止または終了を行わない、  
請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の衝突回避装置。

## 【請求項 7】

前記衝突回避制御部は、ブレーキペダルと前記アクセルペダルとが同時に操作されてい  
ることが検知された場合には、前記アクセルペダルの操作にかかわらず、前記衝突回避機  
能の作動の禁止または終了を行わない、  
請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の衝突回避装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の衝突回避装置は、例えば、回避対象物との衝突を回避するための衝突回避機能  
を作動可能な衝突回避実行部と、ドライバーによるアクセルペダルの操作に基づいて、前  
記ドライバーによる加速意思の有無を判断する判断部と、前記加速意思があると判断され  
た場合には、前記衝突回避機能の作動を禁止する衝突回避制御部と、を備える。また、上  
記衝突回避装置では、例えば、前記判断部は、さらに、前記アクセルペダルの操作に基づ  
いて、前記ドライバーによる前記衝突回避機能のキャンセル意思の有無を判断し、前記衝  
突回避制御部は、前記衝突回避機能の作動中に、前記キャンセル意思があると判断された  
場合に、前記衝突回避機能の作動を終了する。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】